



50名の刀剣評価鑑定士が誕生した昨年の認定試験

当組合が発足して三十一年、その活動の過程で、組合員個人の要望だけでは受け付けてもらえない案件も、組合員の団結を軸にして関係機関などに働きかけ規制緩和や改善を実現するなど、組合員や刀剣関係者の基本的な利益を守っていく力を蓄積してきました。

そのような趣旨をさらに一歩進めるものとして、昨年からは認定試験の設問は多岐にわたっており、刀剣に関する基本知識以外に、銃刀法・古物営業法・特定商取引法・種の保存法などの関係法令からも出題されています。

法律や政令は国際的な潮流や時代の変化に合わせてしばしば改正が行われますが、われわれ刀剣商は常にそれに従って業務を行わなければならない。また、内閣総理大臣の認可を受け、警察庁を主務官庁として発足した組合である以上、新事業

についても指導監督を仰がなくてはなりません。そこで昨年九月、深海理事長が警察庁を訪ね、刀剣評価鑑定士認定事業の報告と認定試験問題の一部監修をお願いしたことは、本紙第五十号でご報告しました。

警察庁の生活安全局生活安全企画課と同居保安課の両課からは直ちに快諾を頂くとともに、銃砲刀剣類所持等取締法ならびに古物営業法についての監修結果を速やかに送信願いました。お忙しい中、丁寧に御対応いただき、誠にありがとうございます。

監修いただきました設問の詳細は前号から掲載しています。ここでは組合が作成した設問に対する、監修者の指摘する見解の相違点や修正の趣旨についてご紹介します。

現在ではインターネットが普及し、通信販売で商品を購入することも一般化していますが、刀剣類は古物の扱いとなるために、古物営業法を遵守しなければなりません。

【設問】ホームページのトップには「古物商の氏名または法人の名称」「許可をした公安委員会の名称」「許可証の番号」の三点を表示しなければなりません。

【修正意見】ホームページを利用して古物の取引を行う古物商は、そのホームページに「古物商の氏名または名称」「許可をした公安委員会の名称」「許可証の番号」の三点を、その取り扱う古物を掲載している個々のページに表示しなければなりません。

「刀剣評価鑑定士」令和二年度も認定試験を実施 警察庁等の監修を受けて試験問題の一層の充実を図る

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL

刀 剣 界

2020.3.15 No.52

発行人 深海信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentosho.com/

第52号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄
伊波 賢一 大平 岳子 将広 嶋田 伸夫
清水 儀孝 生野 正 瀬下 明 土子 民夫
網取 譲一 土肥 富康 服部 暁治 深海 信彦
松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏

【設問】同一世帯でも、二人以上がそれぞれ古物商営業許可証を取得できる。 正解×

【修正意見】同一世帯の二人以上の者が、それぞれ古物商許可証を取得できる。 正解○

【設問】同一世帯でも、二人以上がそれぞれ古物商営業許可証を取得できる。 正解×

大阪刀剣会
吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二丁目一
TEL 〇六六六三二二二〇
FAX 〇六六六四四一五四六

【設問】ホームページのトップには「古物商の氏名または法人の名称」「許可をした公安委員会の名称」「許可証の番号」の三点を表示しなければなりません。

町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一丁目一六二
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 〇四九四一三三〇六七

【設問】ホームページのトップには「古物商の氏名または法人の名称」「許可をした公安委員会の名称」「許可証の番号」の三点を表示しなければなりません。

刀剣・書画・骨董
和敬堂

土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511

銀座日本刀ミュージアム
泰文堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16
岩月ビル2階
銀座泰文堂 代表 川島 貴敏
TEL 03-3289-1366
FAX 03-3289-1367
http://www.taibundo.com

刀剣 高吉

古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください！
連絡先 090-8845-2222
代表者 高島 吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀剣・書画・骨董
和敬堂

土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
http://wakeidou.com/

三峯美術店

埼玉県秩父市野坂町一丁目一六二
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 〇四九四一三三〇六七

刀 剣 界

組合の活動紹介 評価査定部会

当組合の経済委員会に、交換会運営部会・共同購買部会と並んで評価査定部会があります。

評価査定部会は個人や博物館・役所等の法人の依頼を受けて、刀剣類や甲冑武具、古美術品等の評価鑑定を行っています。平成十九年に飯田慶久理事長(当時)の発案で始まり、当時、組合事務局に評価査定してほしい、また売却を考えている等の問い合わせが頻りにあったので、理事会で審議して事業に採用しました。

まず組合事務局に電話やメールで依頼が入ると、その内容を有山・濱崎両事務局員が伺い、日程や査定場所などを打ち合わせます。そして、査定の中身や本数、査定書

が必要かどうかを確認します。評価買入れの立ち合いは必ず理事二名で対応しますが、近くて動きやすい理事に声がかかります。

評価査定は依頼は全国各地からあります。昨年は愛媛県や三重県にも出張査定に伺いましたし、各県警察署から査定の依頼もありません。

公益財団法人日本美術刀剣保存協会からの査定依頼や紹介、公的博物館や地方裁判所からの依頼があり、また東京・神奈川・埼玉各教育委員会の登録審査会で紹介されたお客さまからの依頼もあり、弁護士や司法書士の方が数振持参し、相見積りを依頼されることもあります。また、地方から査定品をいきなり送付してくることもあります。

公の機関から評価査定の依頼があるということは、組合がそれだ

け信頼されている証明であり、理念の一つである社会的地位向上にもつながる事業であると言えるでしょう。

評価査定は買取りを目的とした事業ではありませんが、時として査定を経てお客さまが売却を希望されることがあります。毎月十七日の交換会の案内の中に「組合成り行き品あります」との案内をすることがありますが、それは査定をして買取り依頼を受けた商品です。組合員が落札して生じた利益は、組合の活動を支える一部ともなっているのです。

最近、こんな事例がありました。たまたま組合事務局で査定をして

いると、チャームが鳴り、濱崎さんが対応に当たったのはフィリピンからの来客でした。中に入ってもらい訳を聞いたところ、刀を売りに持参してきたとのことでした。

「昭和三十三年」と年記があるのに登録証に記載がなく、原簿にも年記が記されていないという脇指が入ってきた。交付した兵庫

に、あらかじめ約束していた手数料を頂きました。

この事業は、事務局員の依頼者に対する懇切丁寧な対応と、査定員の自己犠牲なくして成り立ちません。今では欠かせない事業の一つなのです。これからもこの事業を積極的に推進していきたいと思

います。(清水儀孝)

「登録証問題」を考える 23

事例34

今回取り上げる事例は東京都の登録で、種別刀、銘文「憲長/昭和十九年五月」、長さ二尺五寸、反り五分、目釘穴一個とあり、現物に違いがなかったで買い取りました。

その後、所有者変更をしようとして書類に記入を始めて、発行年月日が不鮮明だったので東京都教育委員会に問い合わせたところ、この登録番号では該当品がないことが判明しました。また、警察に連絡するようにと言われました。

警察では、お客さまに他の登録証がなかったかを問いただしてほしいと言われ、お客さまにお聞きしましたが、この刀はお父さまが学生時代に購入し、居合用として使用していたもので、刀も登録証

もこれのみとの返答でした。

そのことを警察に伝えたところ、このままでは刀の所持ができないので、売買を元に戻し、警察で廃棄の手続きをするか、所持したいなら刀をまず警察に預け、事件性がなければ調査し、事件性がないことがわかったら、そこで改めて登録証の新規取得手続きを行うよう話がありました。

この刀は刃切れのある状態の良くない刀でしたので、お客さまはやくなく廃棄することを希望されました。後日お客さまが再来店され、警察官立ち合いの下、売買を解約し、お客さまが廃棄の書類にサインし、刀は警察で処分となりました。

今回はお客さまの意思で廃棄処分となりましたが、警察の調査によって事件性がないことがわかれ



ば、しかるべき手続きを経て所持することができるとのことです。

事例35

「昭和十三年度」と年記があるのに登録証に記載がなく、原簿にも年記が記されていないという脇指が入ってきた。交付した兵庫

に、あらかじめ約束していた手数料を頂きました。

この事業は、事務局員の依頼者に対する懇切丁寧な対応と、査定員の自己犠牲なくして成り立ちません。今では欠かせない事業の一つなのです。これからもこの事業を積極的に推進していきたいと思

います。(清水儀孝)

登録証を取得するには……そう、現物確認が必要になる。このコーナーで何度も話題に上がったことである。

書類を送付→登録証を発行した都道府県の教育委員会から東京都教育委員会へ依頼書→都庁で現物確認を実施→東京都教育委員会から回答→訂正交付。手続きそのものは簡単である。ただ面倒くさいし、時間がかかる。それでもやらないとどうにもならない。というわけで、都庁での現物確認の段となった。

長さ、反り、目釘穴の数、表の銘文、すべて一致したが、東京都の登録審査委員は一製作年代が現代になっていきますね。それと裏年記が全くないというの

は「不一致」という判断をしてほしい(当日、出張したスタッフの談)。

か、心配しながら待っていると兵庫県教育委から連絡がきた。訂正交付します、であった。旧登録証を送り返し、再び待つこと二週間。待望の新しい登録証が来た。

一応確認した。長さ良し、反り良し、目釘穴の数良し、表銘良し、裏銘「昭和十三年戊寅……」一字余計な文字が入っている！

早速連絡をした。「東京都から来た回答とデータに基づいて、交付しますが……調査してご連絡します」ということであった。当然であらう。

東京都は登録審査の際に、某の写真を取らない。果たしてわかるのだろうか。訂正交付された登録証の文字が違っていたことが前にあった。その時には、審査に当たった登録審査委員の方が記憶していて大きな問題にはならなかった。が、もし確認できないという

なら、まさか……嫌な予感も湧いた。果たして、予感的中した。東京都は結局、確認できなかった。見たままに間違いなく書いたというところだ。

「また現物確認に行かなくやだめですか？」

「写真を送ってもらえますか？」

早速、撮影して送った。実は、この脇指には保存刀剣鑑定書が付されており、某の表裏の写真がある。こちらも意地を張って連絡なかったのだが、さすがに一週間も何も言っていない前に進まないで、電話してみた。当初、話が

る。「鑑定書のコピーを送りましょうか」と言ったが、それは遠慮したいと言う。公文書だし、写真、登録番号、銘文、刃長、目釘穴の数が見ればわかるから、筆者の下手な写真よりはるかにいいと思うのだが。そもそも写真を撮影して送って、確かに間違えてますね、というのが明らかにできるなら、現物確認に行く必要がないんじゃないのかなあ、と素朴な疑問を持った。文句を言っても、本当にどうにもならないので、写真を撮影し、プリントして送った。

ところが、レターパックは確かに配達されているはずなのに、何も連絡がない。真さんなら満男、届いたら、拝受しました。お手を煩わせてすみません。くらい言うのが社会の常識ってんだぞ」と説教するはずだ。池波正太郎先生の本に、「昔は手紙の書き方電話のかけ方を小学校で習った。今はやらないね」というようなくだりがあったが、教育行政の本山の1つである東京都教育庁ですらそんなでは、世の中何にも変わらないなあ、などどつい思ってしまう。

全く通らなかったが、ようやく伝わって、担当者が電話口に登場。「あっ、今、電話しようと思っていました」と言いながら、「登録審査の先生の確認を得て、兵庫

県に送付しました。近いうちに兵庫

県から連絡が行くでしょう」と何事もなかったかのような口ぶり。登録審査は二人一組であるが、あんな綺麗な某の銘文を二人して読み間違えても「先生のなか」などどつい嫌みなことを考え、また「今電話しよう」となんて、まるで出前か何かの人だなあと、ただただ、呆れるしかなかった。

地域教育支援部の銃砲刀剣類登録担当を数年勤めたら、たぶん別の部署へ行き、やはり同じように「すみません。今、お電話しようと思っていたところでした」となんて言いながら仕事するんだろうなあと、思った。

ともあれ、登録審査委員の「先生」のおかげで、多大な手間暇がかかってしまった。しかし、こういうことは登録時に某の写真撮影しておきさえすれば、何となくもなかったはずである。都はデジタルを買うだけの予算すらないのだろうか。それとも決済にハンコが山のように要るのだろうか。善処してほしいものだ。

所有者変更届の重要性を再認識しました

何年前かに入手した昭和20年代の大阪府登録の在銘刀がありました。茎がかなり朽ちていて、登録当時でさえ判断困難だったらしく、登録証も「表：〇〇〇〇国/裏：〇〇二年〇〇」と判断不明があるまま登録されていました。鑑目もわかりません。

茎の錆落としを繰り返すうちに、かすかにあった銘もほとんど見えなくなりましたので、大阪府教育委員会に電話相談しました。

「千葉県在住の鈴木と申します。大阪××××番の御刀ですが、銘が見えなくなりました」

「在銘から無銘への変更の可能性はあるが、そもそも貴殿はその刀の正当な所有者であるか? 所有者変更届を出しているか? 正当な所有者ならば、自宅宛に内容変更に関する書類を郵送する。必要事項を記載の上、before(在銘)/after(無銘)がわかる押形等を添えて大阪まで返送のこと。内容適正ならば千葉県教育委員会に連絡する。千葉県の登録審査に向いて事情説明→現物確認→新規登録になる。現登録証は返納になる」(実際はもっと丁寧でしたが、文字にするとこんな感じでした)

その御刀の所有者変更届は入手後20日以内に提出済みでしたので、大阪府教育委員会の方も登録原簿で現所有者を確認の上、内容変更書類を拙宅に郵送してくださいました。

しばらくして千葉県教育委員会から連絡があり、登録審査時に御刀・登録証・身分証明書・印鑑を持参して会場に来ること、審査合格の際には千葉県の新規登録となるので、千葉県の収入証紙(収入印紙ではない)6,300円分を購入して申請用紙に添付のこと。といった流れで、遅滞なく内容変更・新規登録となりました。

所有者変更届を怠っていたら、いつ誰から譲り受けたのか? 20日以内の届け出が義務であるのになぜ変更届を出していないのか? 御刀の所有者は本当に貴殿か? 等々の質問攻めに遭い、まずは「変更届を至急提出します」から始めることになったでしょう。

内容変更の際でも、所有者変更届が重要であると実感した事例です。(千葉県の刀剣愛好家・鈴木光寿)

(登録証問題研究会)

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

救った命5年で350人超

駐ミャンマー大使「意義大きい」



【ヤンゴン＝吉国在】明美ちゃん基金によるミャンマーへの医療支援事業が開始から5年の節目を迎え、ミャンマー政府から感謝状が贈られた。12日にヤンゴン市内で行われた式典には、丸山由紀・駐ミャンマー日本大使をはじめ、ともに治療にあたってきた日本やミャンマーの医療関係者ら100人以上が出席。心臓病に苦しむミャンマーの子供が数多く救われた喜びを分かち合った。



明美ちゃん基金の式典で記念撮影に応じた関係者ら＝12日、ミャンマー・ヤンゴン(萩原悠蔵)

「目の前の子供たちに直接支援の手を差し伸べてきた基金の支援は、政府開発援助(ODA)などではなかなか行き届かない」と「産経新聞」令和二年二月十四日より。私たち全国刀剣商業協同組合も「大刀剣市」において浄財を募り、「あけみちゃん基金」に協力してきました。微力ながらお役に立ててうれしく思います。今後も続けていきたいと思

全国美術刀剣青年会 代表幹事就任に際して

土肥 富康 (和敬堂)

この度、全国美術刀剣青年会の代表幹事を務めさせていただきましたことになりました。この会は名前の通り、刀剣界の若手たちが集まり、会の競りから発句、通し、伝票書きに会計まで

すべてを運営していくもので、会のシステムを理解し、諸活動を通してこれからの刀剣界を支えていくような人材を育成するのが目的であります。百聞は一見に如かずで、実際に運営することによって気づくことがたくさんあります。それが成長の糧になると感じています。青年会の歴史は古く、それがここまで続いてるのは、今まで青年

会を支えてくださった先輩方のおかげであります。一時は事故によって負債を抱えてしまいましたが、これにも先輩方の協力があり、一昨年に返済が完了しました。今は健全な運営ができています。ご協力いただいた皆さま方先輩に感謝しつつ、未熟ですが、精いっぱい責務を全うしたいと思います所存です。年に一回、青年会は大会を行っており、今年は九月に開催します。その際は多くのお客さまにご来場願えたら嬉しい限りです。どうぞよろしくお願い致します。

ある刀屋の履書

飯田慶久 (飯田高遠堂)

第五回 徳川宗家伝来の刀剣

徳川御宗家が財団法人を設立し、史料類を永久保存することになった。今の徳川記念財団である。財団設立の際には個人所有の物品を寄付することになるので、必ず寄贈評価を行わなくてはならない。寄贈評価とは、その資産を現金で購入すれば支払うであろう公正な評価額を査定することである。私もこれまで何度か依頼された。国や公立博物館に寄付された刀剣の寄贈評価を務めてきた。平成十四年の夏、霞会館(旧華族会館)美術部の松平さんという方が当店にお見えになり、刀剣類の寄贈評価を依頼するに当たって「持参して見ていただくべきところだが、徳川宗家の刀なので申し訳ないが足労願えないだろうか」とのことだった。私は「大変光栄に存じます」と言ってお承った。拝見した刀は全部で十五振。保管されている東京国立博物館と江戸東京博物館とご自宅の三カ所を松平さんとも回った。それぞれ別の刀に深い印象があるが、ここでは一振についてだけ思い出をご紹介しよう。

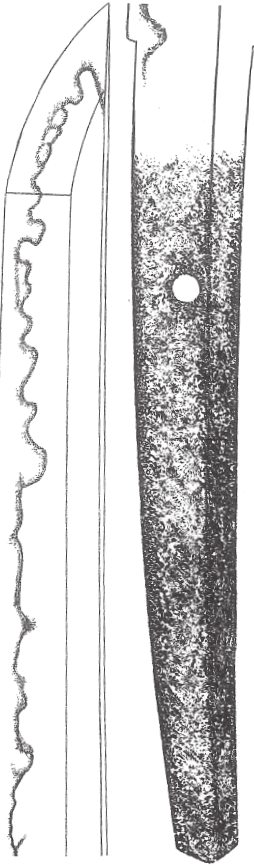
「徳川家に本庄正宗という刀があったのだが、その刀を飯田さんへご存じですか」とお尋ねになる。私は「もちろん承知しております」とお答えした。「その刀が実はアメリカから出てきて、私のところに連絡が来ている。どんな刀で、徳川家にとってどんな価値があるのか教えてほしい」とのことだった。御宗家の刀剣の寄贈評価をお手伝いした縁で私の名前を記憶して下さっていたのかと、うれしくなった。早速、本庄正宗について記された文献などをコピーし、お送りした。

本庄正宗は終戦直後、進駐軍に提出したまま返還されず、現在まで行方不明になっている。徳川御宗家の三種の神器の一つであり、最も重要な家宝とも言えるべき刀だった。これまでも噂話は幾度かあったが、発見に至っていない。御宗家からのお話だったのひょっとしたら本庄正宗かもしれない、本庄正宗が出てきたら大ニュースになると思った。

だが、ここで大きな壁にぶつかってしまった。もしその刀が日本に帰ってきたとして、誰がどのようにして本物と鑑定するのか、ということだった。広井雄一先生に「文化庁に照会すればわかりますか」と尋ねると、「文化庁には本庄正宗の寸法や目釘穴数などの記録はあるが、押形や写真はないので、難しい」とのこと。小笠原信夫先生にも同様に伺ったが、東京国立博物館にも資料は一切ないということだった。権威ある両機関でわからないとなると、「実際に返還された時、その刀を誰が本庄正宗かどうか判断するのですか」と重ねて質問した。お二人とも「これは困ったことだ」という話だった。

知る限りでは、本庄正宗の資料は福永酔剣氏の『皇室・将軍家・大名家刀剣目録』に掲載された押

本庄正宗とされる押形(福永酔剣『皇室・将軍家・大名家刀剣目録』より)



ります」とお答えした。「その刀が実はアメリカから出てきて、私のところに連絡が来ている。どんな刀で、徳川家にとってどんな価値があるのか教えてほしい」とのことだった。御宗家の刀剣の寄贈評価をお手伝いした縁で私の名前を記憶して下さっていたのかと、うれしくなった。早速、本庄正宗について記された文献などをコピーし、お送りした。

日本刀 販売 買取 委託

e-sword (株)e-sword (イーソード) 平子誠之

〒350-1115 埼玉県川越市野田町 1-4-19 1F
TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407

<http://www.e-sword.jp>

日本刀 イーソード 検索

mail:info@e-sword.jp

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定

(株)城南堂古美術店

代表 **田中 勝憲**

〒153-10051
東京都目黒区上目黒四-1-11-10
TEL 03-371-0167
03-371-0167
FAX 03-371-0167

質問箱

第五回・新々刀その二

回答者 ● 冥賀 吉也



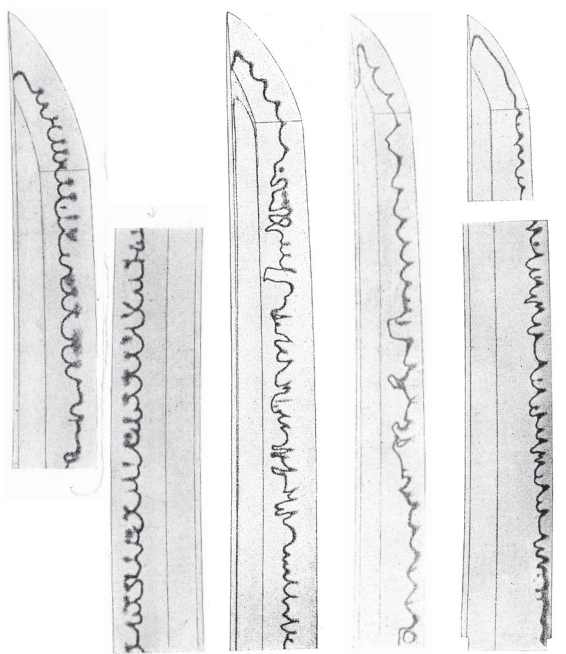
今回は新々刀の作風の変遷の中で、瀧澤刃まで説明しましたが、今回は「復古刀」について説明しましょう。

復古刀の期間ですが、年代的に文化四(一八〇七)・五年から嘉永末年までの約四十五年間と考えられています。

姿の特徴としては、新々刀ですらで全般にわたって重ねが厚く、平肉が乏しく、重量感のあるものが多いです。

復古刀は鎌倉期のものを理想としているところから、反りがある点が重要なポイントと言えます。元幅と先幅の差もあり、切先は鎌倉期のものに比してやや延び心になることも特徴と言えます。

復古刀期間の四十五年間の中でも、姿に多少の変化があります。文化四・五年から文政年間約二十二年間は、鎌倉期の姿を模しているものが多いです。次に天保年間の十四年間は、長さが二尺六寸あるいは二尺八寸前後と長寸になり、身幅も広く、元先の幅差は少なく、大切先の豪壮な姿が多く見られます。ただし、重要なポイントには反りがある点です。



細川正義 (嘉永4年) 直胤 (嘉永3年) 直胤 (文政2年) 水心子正秀

次に、正秀の復古刀の作風について述べてみますと、反りが深く優美な太刀姿ですが、重ねはやや厚く、平肉が乏しく、しかも手持ちのやや重い体配が多いです。そして、切先は延び心です。

備前伝が最も得意であり、次いで相州伝も巧みです。山城伝・大和伝・美濃伝にも精通し、誠に器用な刀工です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

天保十五年(一八四四)の作で、

兼光写しの片落ち互の目を焼いて

重要な美術品の文化十二年紀・杉原

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

直胤は復古刀初期の文化四・五年ごろは二十八、九歳であり、終わりの嘉永六年(一八五三)が七十五歳です。まさに復古刀時代を駆け抜けた刀工の一人です。

稀ですが「日本の鏡について勉

強するの良し入門書はありませんか？」と質問をいただきました。

個人的な感覚でしかありませんが、この十年ほど日本甲冑に関するムック本・解説本などが多く出版されているように思います。

甲冑の基礎知識(山岸素夫・宮崎眞澄共著、雄山閣、一九九〇年刊)をよみ噛み砕いてシンパルにしたようなもの

甲冑の基礎知識(山岸素夫・宮崎眞澄共著、雄山閣、一九九〇年刊)をよみ噛み砕いてシンパルにしたようなもの

甲冑の基礎知識(山岸素夫・宮崎眞澄共著、雄山閣、一九九〇年刊)をよみ噛み砕いてシンパルにしたようなもの

甲冑の基礎知識(山岸素夫・宮崎眞澄共著、雄山閣、一九九〇年刊)をよみ噛み砕いてシンパルにしたようなもの

甲冑の基礎知識(山岸素夫・宮崎眞澄共著、雄山閣、一九九〇年刊)をよみ噛み砕いてシンパルにしたようなもの

甲冑の基礎知識(山岸素夫・宮崎眞澄共著、雄山閣、一九九〇年刊)をよみ噛み砕いてシンパルにしたようなもの

甲冑の話題

(二社)日本甲冑武器研究保存会

加えて、姿に大きな特徴があり

ます。いわゆる正義の二段反りと

言われるもので、鉦元の刃方にも

棟方にも踏ん張りが強くつき、さ

らに中心の形も湾曲している、正

義ならではの姿となります。

刃文も鉦本位に小沸のついた焼

き高い重花風の丁子を交えて華

やかに乱れ、焼き幅に高低が見ら

うか。諸般の事情を考えれば致し方

ないのかもしれないけれど。

「日本甲冑の基礎知識」は日本甲冑

好きの初心者の間ではマストアイテム(必携本)となっております。

「日本甲冑の基礎知識」は日本甲冑

好きの初心者の間ではマストアイテム(必携本)となっております。

「日本甲冑の基礎知識」は日本甲冑

好きの初心者の間ではマストアイテム(必携本)となっております。

「日本甲冑の基礎知識」は日本甲冑

Advertisement for Goshuya (小暮昇一) featuring various Japanese swords and contact information.

Advertisement for Aoba Enterprise (アオバ企画株) and Takahashi (高橋一) with contact details.

Advertisement for Iidakoendo (飯田高遠堂) specializing in swords and armor, including contact information.

Advertisement for Mitsuhiro (美術刀剣松本) for the sale and purchase of Japanese swords.

Advertisement for Nihon Katana (日本刀剣) for traditional Japanese sword culture, including contact info.



囲碁は十君子の嗜み

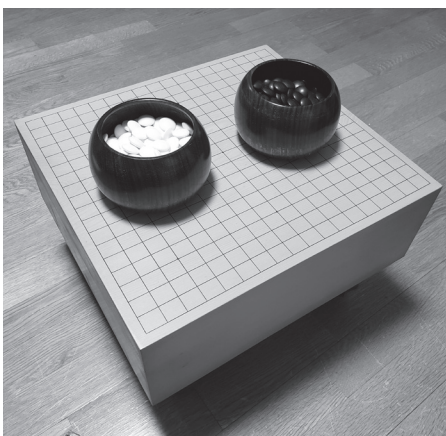
土肥豊久(和敬堂)

私の唯一の趣味は囲碁で、小学校三年生の時に父の手ほどきで始め、今はアマ五段で打っています。碁盤の線は漆ですが、刀の刃先に付けた漆を反りに合わせて少しずつ盤に置いて書いていきます。そうすることで、最も綺麗に線を描けるそうです。

縦十九本、横十九本の線ができますが、その交わりの所に白と黒の石を互いに置いていきます。一度置いた石は動かすことができません。最後に交わりの数を多く取った方が勝ちになります。刀装具の画題に碁棋書画がありますが、この作品が意外に多く残されています。それは十君子(学問・人格ともに優れた人)の嗜みとして必要だと考えられていたか

らです。琴(音楽)、棋(囲碁・将棋)、書(美しさと教養)、画(物の本質を見抜き形にする)、それが武士と君子には必要な要素とされていたようです。将棋は最後に玉将の駒を取ってしまえば、ほかの駒がいくら取られていたとしても勝ちですが、囲碁は九×九の将棋盤の四倍の広さがあり、部分の勝ち負けより全体の力関係の方が大切で、勝負にも関わってきます。少ない利を追いかけて、大きな利を取られることもよくあります。手順の読みも大切ですが、その結果も頭でよく考え、部分で負けていても全体では勝てる信じ、臨機

応変に打つことが必要です。囲碁が趣味の人はボケが少ない、また美術商・表具屋さんもボケが少ない、そんな話を耳にします。私も大好きな刀剣商と囲碁を究めつつ、歳を重ねられればと思っています。どちらも道半ばでまだまだですが、仲間の助けを借りて切磋琢磨し、自分も仲間も、また刀剣界・美術界も大切に、皆が良くなることを願っています。



台東区浅草編

今日は前置きが長い。いつも埼玉方面に向かう時左折する、山手通りの青葉台一の交差点にかつてはコーヒーの問屋さんがあったが、今は黒っぽいビルがそびえている。LDHという会社だそうで、芸能事務所・ダンススクール・飲食店など幅広く展開。一番有名な所属アーティストはE-XILE(エグザイル)だそうだが、地元の方々は呼び捨てでなく「さん」を付けるとか。メンバーのShoichiさんが家路を忘れたお年寄りを家まで送り届け、人気急上昇。その後も多くのサラリーマンがリストラにおびえる中、彼らはメンバーを公募して増員したとか、ビルの前のガードマンさん

が感じ良いとか、ごみ集積所がメンバーの陣頭指揮によりきれいなったといった噂まで…。彼らと事務所内で双璧をなす稼ぎ手が、三代目「SOUL BROTHERS」(ジェイ・ソウル・ブラザーズ)という皆さん。Naokiさんらメンバーが重複しているため、俺はエグザイルの二軍がこちらで経験を積んでエグザイルに上がるものと思っていたところ、識者である組合事務局の濱崎美千代女史によると、並立の関係で一軍・二軍ではないと教えられた。われわれ刀剣商にとって一番気になるのは、三代目の前に初・二代はあるのかだが、彼女はかつてあったと証言している。エグザイ

ルと間違っって発音しているし、関口メンディーさんとか、関口メンディーさんだか未だにわからない俺は、彼らを熱く語る立場にない。むしろ地元の城南草や宝古堂さんが詳しいかもしれない。さて、今日の俺の行き先は東京都立産業貿易センター台東館。新春浅草刀剣祭を訪ねる。一月の寒さ、短距離でお茶を濁そうとした俺を神様が許さなかったのか、三日間のイベントと勘違いした俺は一月九日に現場を訪ね、まだ誰も搬入していないガランとした会場へ突入。

結局、十一日に再び来訪で二往復というマヌケさだ。 「大刀剣市」から二カ月後に開催されるこのイベントは、前半の話とつながるのだが、別に大刀剣市の二軍や育成ではない。全く違うコンセプトのイベントで、主役は庶民の刀剣と下町に集

う愛刀家、そして愛刀家予備軍だ。居合道の実演など、草の根運動や愛刀家への入り口を開くことも忘れてはいない。メンバーの重複もあるが、このコラムに協賛してくれた方々とも忘れることができない再会となった。 大宮編では出来の火縄銃を追い、清水敏行氏の店でインアックデキの助っ人スライスチャンピオン、エリック・メヒラー選手を思い起こした。

町田編では旗谷三男氏が息子息をくくされた魔のT字路、金井入り口では案の定、トラックの左折で肝を冷やした。実業団シマノ自転車競技部のベテラン松井久選手は、



(左から) 旗谷三男・松原正勝・清水敏行の各氏に囲まれて

大太刀製作の記



私がこれまでに製作した中ではかなり大きい部類の作品で、刀6振分の材料を使用しました。一番苦労したところは、鉄を焼くと酸化被膜ができて表面が剥げ落ち、鉄の分量が減っていくことです。大きい故に鉄の減り幅が多く、鍛え上げた鉄で目標の長さを維持するには、かなり神経を使いました。 また焼き入れでは、通常の刀の3倍の重量で、かつ長大ですので、引き焼きで作業するには大変難しく、赤く熱して水に浸けるころには気力・体力ともに使い切りました。焼きが入り、全体を研ぎ出し派手な刃文を見た時には、今までの苦労が一気に吹き飛んだことを思い出します。 疵や割れもなく破綻のない丁子の刃文に、勢いのある龍の彫りを身に纏った大太刀は、私の作刀人生の中で最高の作品になるのではないかと考えています。(文・木村兼嗣/写真・トム岸田)

種別	大太刀	銘文	以自家製鉄鍛之 肥後国八代住兼嗣謹作 範光彫之 平成十五年八月吉日
			長さ130cm(4尺3寸) 反り4.7cm 重さ3kg

狭山市立博物館(埼玉県狭山市稲荷山一〇〇四・二九五・三三八〇四)で開催された企画展「日本刀の美・研師森井鐵太郎 技を伝える」が二月十六日、好評のうちに閉幕した。 森井さんは人間国宝の故藤代松雄師に弟子入りして技を磨き、二〇〇七年に狭山市で独立。現在四十三歳の気鋭の研師。当組合の賛助会員でもある。研師に焦点を当てた刀剣展は珍しく、「研師の手によって価値を引き出された作品をご覧になって、現代にも私たちがようならわいがあることを知ってほしい」と話していた。 展示された八振は、森井さんが研磨した中から選んだ名刀ばかり。鎌倉時代の作で、孝明天皇から十五代将軍徳川慶喜に下賜されたと伝えられる真守や、鎌倉末期く南北朝初期とされる守次などで、同館が各地の愛刀家から借り

受けたという。いずれも保存状態が良く、森井さんも「大切にされてきたと推察される健全さで、日本刀の素晴らしさが伝わってくる」と賛辞を惜しまない。 会期中、森井さんの実演やギャラリートークが行われたほか、石田國壽(刀匠・水田吉政(研師)・森井敦央(鞘師)三氏が協力し、刀職の技を公開した。



見学者と語り、研磨の技を披露する森井さん

靖国神社遊就館で「現代刀鑑賞会」開かれる

一月十三日、全日本刀匠会関東支部主催の「現代刀鑑賞会」が靖国神社の遊就館で開催されました。

鑑賞会には女性二十七名、男性十名の参加があり、二名の視覚障害者と一名の聴覚障害者の方もエントリーされました。視覚障害者の方には、鐔を触ったり、刀身を持って重量なども体験されていました。

小澤茂範・加藤慎平・川崎昂平・下島房由・高橋恒敏・宮城朋幸・山下義高・吉原国家の各刀匠の作品八口が展示され、参加者は刀匠自身から展示作品の解説を聞きながら鑑賞を楽しみました。

続いて現代刀四口の入札鑑定が行われ、上位入賞者には刀鍛冶が作った鉄の小品や図録などが、最高入賞者には吉原刀匠と川崎刀匠から小刀が贈られました。(報告・写真/トム岸田)

当組合賛助会員の森井鐵太郎さん 刀剣展の開催に協力

狭山市立博物館(埼玉県狭山市稲荷山一〇〇四・二九五・三三八〇四)で開催された企画展「日本刀の美・研師森井鐵太郎 技を伝える」が二月十六日、好評のうちに閉幕した。

森井さんは人間国宝の故藤代松雄師に弟子入りして技を磨き、二〇〇七年に狭山市で独立。現在四十三歳の気鋭の研師。当組合の賛助会員でもある。研師に焦点を当てた刀剣展は珍しく、「研師の手によって価値を引き出された作品をご覧になって、現代にも私たちがようならわいがあることを知ってほしい」と話していた。

展示された八振は、森井さんが研磨した中から選んだ名刀ばかり。鎌倉時代の作で、孝明天皇から十五代将軍徳川慶喜に下賜されたと伝えられる真守や、鎌倉末期く南北朝初期とされる守次などで、同館が各地の愛刀家から借り

刀 剣 界

令和2年3月15日発行(隔月刊)

イベント・レポート

東京江戸東京博物館「江戸ものづくり列伝—二ッポンの美は職人の技—」開催

江戸・東京に生きた五人の名工たちのものづくり魂に触れる

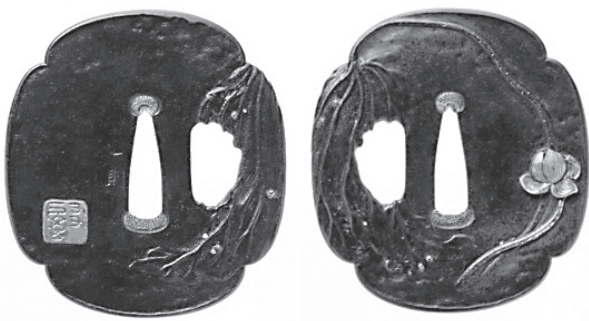
毎回、意欲的な展示会で知られる江戸東京博物館。今回は、江戸のものづくり職人がテーマ。江戸・東京に生きた五人の名工の生涯を仕事でたどるという趣旨である。

「ものづくり」…日本独自の文化、戦後の日本の繁栄は「ものづくり」に負うところが大きい。そして、今日でも何かと耳にする言葉である。例えば、底の厚いマラソン用シューズが開発されて話題になっているが、これなども「一秒でも早く走る!」「世界記録を出す!」

との現代の韋駄天たちの熱意と意気込みに感服するべく、シューズ職人たちがミクロ単位の精度を競った結果であろうし、まさに「現代ものづくり」以外の何物でもない。

さて、今回の特別展で取り上げられた五人の名工とは、時絵師の原羊遊斎・柴田是真、陶工の三浦乾也、葛飾北斎門人で金工に転じた府川一則、そして超細密工芸の小林磯斎。

筆者は開催直前の二月七日、美の巨匠たちの生涯と仕事を一望することができ、稀有の企画展の開



蓮花図鐳 銘一則(印銘 九九層)

会式・内覧会に参加した。

開会式で、バルディ伯爵コレクションを展示に供したベニス東洋美術館の館長が挨拶した後、この展示会を企画した落合学芸員がパワーポイントを使って、見所を説明。その後、いよいよ展示室での内覧会となり、参加者は音声案内の器機を耳に当て、展示品と対面した。

入波に流されるように展示を見ているうちに、気がつけば、会場は人がまばらの状態となった。多くの方がレセプション会場へ移動し、展示や近況を話題に食事をしていたらしかった。おかげでゆったり見ることができた。

大金持ちのバルディ伯爵は、それこそありとあらゆる大名物を買った(今でいう爆買い)らしい。その中の最高のものが、今回の目玉となった黒田家と大和郡山藩本多家の婚礼道具(梨子地藤巴立葵紋散松竹藤文時絵行器)である。よくぞ無傷で、と感心しきり。鐳や小柄、大小拵。そして袴姿、鍔姿の肖像画は、今でも遊園地や動物園で、顔の部分に開けられた穴から顔を出して記念撮影するまことにあれ。「バルディさん、よほど好きだったんだね」と思わずニヤリ。それにしてもバルディさん、献上紋なども買っているけど、一体どうする気だったのだろうか。

時絵師の原羊遊斎。その仕事はまさに多彩にして洒脱。特に酒井抱一の下絵とともに伝わった軸盆は見事であった。四十九歳で剃髪した際の肖像画は古文苑が描き、酒井抱一、市川団十郎、大田南畝らが詩歌を寄せているが、絵も文字も洒脱。柴田是真は古墨写しの印籠、漆黒に扇が時絵された書棚、

檀溪渡河図の漆絵もあり、時絵師であり漆絵師でもある、彼ならではの境地が示されている。檀溪渡河図は浜野派の鐳などのそれとも異なり、実に迫力があつた。陶工・三浦乾也は、その芸術もさることながら、彼が仙台藩の軍艦建造に貢献していた事実にびっくり。ほかには色彩豊かでかわいらしい今戸焼や、勝海舟有縁の京山焼も展示されており、勝海舟好きの筆者は見入ることしばしば。また酒井抱一の、墨田川を描いた大きな屏風は彼の画才のすごさを思い知らせる逸品。「絵筆と紙があれば、どんな世界も描き出せるってわけさ」そんな抱一の声が聞こえてきそう。

府川一則は北斎の門人であったが、北斎の死後、後藤家流の金工技術を習得した異色の職人。北斎の見本画、彼の面帳、息子の身を案ずる父に宛てた北斎書状から繊細密な北斎の人柄が伝わる。

府川一則の作品は少ないらしい。北斎の号「九九層」の金印銘が刻された蓮花図鐳は注文帳に所載の貴重な作。図柄と彫りともども見事で、彼がいかに優れた金工であったかがわかる。水割文軸の拵も貴重。ただ彼が維新後、有栖川宮さんと縁があったとは知らなかった。有栖川宮家といえは、菅原包則や山正次が連想されるが、彼らとも交流があったのではないだろうか、さまざまな想像が膨らむ。そして緻密で美しい手控帳の文字にため息。

さらに進んでいくと、小林磯斎のミニチュアアートの世界が広がっている。一寸ほどの大きさの瓢箪の造り物の中に数ミリの瓢箪が入っている六瓢箪物、同じく数

ミリの瓢箪と独楽の彫物などに思わず見入ってしまう。「これ、どうやって作ったの?」来場者から感嘆の言葉が漏れる。大変充実した展示会であった。ただ、もう少し展示の方法に工夫が欲しいなとも思った。例えば、鐳の裏側が見られるように写真を展示するとか。拵の各部の写真を示すとか。あるいは磯斎の瓢箪

をルーペで見られる工夫をするなど。刀では江戸石堂の東蓮の美しい丁子出来の刀や、長曾祢庸徹・興正親子の優品も展示されていたが、刀絵図を示すかしてはどうだろうか。これらは刀の刃が尋常ならざる美しさだったが、キャプションを読んで通り過ぎるだけの人も少なくなかった。ただ見て

をルーペで見られる工夫をするなど。刀では江戸石堂の東蓮の美しい丁子出来の刀や、長曾祢庸徹・興正親子の優品も展示されていたが、刀絵図を示すかしてはどうだろうか。これらは刀の刃が尋常ならざる美しさだったが、キャプションを読んで通り過ぎるだけの人も少なくなかった。ただ見て

組合こよみ (令和2年1~2月)

- 1月17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加56名、出来高14,196,500円
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第52号編集委員会を開催(企画)。出席者、海理事長・土肥副理事長・服部副理事長・水専務理事・綱取常務理事・生野理事・下理事・松本理事・持田理事・土子氏
- 2月4日 商工中金担当者が銀座長州屋を訪問、深海理事長・綱取常務理事と商工中金定款に定められた組合借入れの保証について会談
- 17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加50名、出来高8,140,500円
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第52号編集委員会を開催(初校)。出席者、海理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・飯田理事・大平理事・猿田理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・土子氏
- 27日 刀剣査定のため、深海理事長・清水専務理事が公益財団法人日本美術刀剣保存協会を訪問
- 27日 深海理事長が公益財団法人日本美術刀剣保存協会・資料収集委員会に出席
- 27日 銀座長州屋において『刀剣界』第52号編集委員会を開催(再校)。出席者、深海理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・生野理事・土子氏

春日大社国宝殿「最古の日本刀の世界—安綱・古伯善展」

一月二十四日、春日大社国宝殿で開催されている「最古の日本刀の世界—安綱・古伯善展」を拝観した。前期日程が二十六日までということで、スケジュールの隙間を縫っての駆け込みであった。



春日大社国宝殿の正面入り口

観光客で混み合う春日大社境内を抜けて国宝殿に入ると、平日にもかかわらず賑わっているではないか。年配の男性と若い女性が多い。昨今、流行りの刀剣女子だろうか。さて、いよいよ拝見となったが、階段を挟んで右と左の展示室とも人があふれている。「最古の日本刀の世界」と「伯善国安綱とその美の世界」のテーマで展示室が分けられているのだ。私は係員に促

初期日本刀を堪能し、併せて古都・奈良を味わう

「安綱」の方から拝見することにした。暗い展示室に入ると「童子切」が目飛び込んできた。平安時代独特の優美さと、「武器」である刀の激しさを兼ね備えた姿だと感じ入った次第である。童子切に毒気を抜かれ果けていると、入波に流される。そして、私の前には次々と名刀が現れるのだった。「鬼切丸」「天光丸」「有綱」、無銘の古伯善など、三十振余りの名刀と相対した時間であった。

「山鳥毛里帰りのプロジェクト」が目標額を達成

岡山県瀬戸内市は二月二十七日、上杉謙信の愛刀「山鳥毛」(国宝無銘一文字)を購入するための寄付が必要経費を除いて目標の五億一三〇九万円に達したと発表した。山鳥毛は当初、謙信ゆかりの新潟県上越市が約三億二〇〇〇万円で購入を目指したが、所有者と金額面で折り合いがつかず断念、製作地長船の所在する瀬戸内市が二〇一八年十一月に寄付を募る一里帰りのプロジェクトを開始していた。だが、寄付集めは難航した。転機は昨年十二月下旬。刀剣ブームの火付け役となった人気ゲーム「刀剣乱舞 ONLINE」に山鳥毛をモチーフにした「銀髪・赤目・サンダラス」の新キャラクターが登場すると、プロジェクトのホームページへのアクセス数が「パンクするほど跳ね上がった」(瀬戸内市の担当者)。この月の寄付は過去最高の一億四八〇〇万円に達し、一月後に目標額を突破した。

も良さはわからない、伝わらないということ、そのギャップを埋める工夫が必要だろうと思う。キャプションも通り一遍のごちゃごちゃで、読んで何が書いてあるのか、全く伝わっていない。博物館の展示のキャプションというのはそういうものなのか、キャプションを読んで通り過ぎるだけの人も少なくなかった。ただ見て

換することに明け暮れている筆者としては、いささか不満であった。自分ならどう書くかなあ…など、つい思ってしまうのは、一種の職業病ともいえようか。全体に、もう少し展示の方法に工夫が欲しいと思ったが、それは図録で見てください、ということなのかもしれない。開催は四月五日まで。(小島つとむ)

NEWS & TOPICS

東博が五輪期間中は夜間開館

東京国立博物館(台東区上野公園一三一九)は、訪日外国人(インバウンド)の取り込みに向けて七月の東京五輪・パラリンピック開催期間中、夜間開館することを決めた。現在は午後五時の閉館時間を週末限定で午後九時に延長しているが、期間中は連日午後九時までとする。

夜間の賑わいを創出し、経済効果を高める「ナイトタイム・エコノミー」の一環として、日本を訪れる外国人に五輪だけでなく日本文化にも広く触れてもらうのが狙いだ。

東京国立博物館は、日本を中心に東洋の美術品や歴史資料・考古遺物を展示。国宝八九件を含め、収蔵品は一二万七〇〇〇件以上に上る。

また東京国立近代美術館(千代田区北の丸公園一三〇一)は期間中、五七七八六〇〇)は期間中、

NEWS & TOPICS

大河ドラマ館で織田家ゆかりの景光を展示

「麒麟がくる」岐阜大河ドラマ館(岐阜市大宮町二一八一)岐阜市歴史博物館(二階)で、戦国武将織田信長の父信秀の愛刀などが三月八日まで展示され、話題となっている。

展示しているのは、刀と信長直筆の朱印状、織田木瓜紋縫合襷。今年六月に「名古屋刀剣博物館・名古屋刀剣ワールド」を開館する東建コーポレーションが、コレクションの一部を提供した。

刀は長船景光の作。「織田弾正忠信秀摺上之」の銘が切られており、信秀の没後に信長に引き継がれたとされる。



麒麟がくる
～岐阜大河ドラマ館



東博では7～9月に夜間開館する

NEWS & TOPICS

奥出雲たたらと刀剣館

奥出雲たたらと刀剣館(鳥根奥出雲町横田二三八〇)は、日本遺産に認定された「出雲の国たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」のガイドセンターとして、奥出雲町のたたら製鉄について総合的に展示・紹介している。

ここで今、玉鋼などを使った奥出雲たたらブランドの作品展が開かれ、日本刀や包丁、ペンダントなどのアクセサリに来場者の注目が集まっている。開催は三月十五日まで。

同町大呂には公益財団法人日本美術刀剣保存協会(酒井忠久会長)の刀刀保たたらがあり、国内で唯一、伝統的なたたら製鉄が営まれ、日本刀の材料となる玉鋼を造っている。町はたたらを地域ブランドとして活用するため、二〇一六年から玉鋼や、製錬の過程で生じる鉄滓を素材にした作品づくりを提

案。刀匠や国内のデザイナーが手掛けた製品を認証している。

会場ではナイフや眼鏡・鉄扇・ペンダントなど三十五点を展示。財布のボタンやコンチョを玉鋼で作った「刀輪」として出品した鳥取県伯耆町のデザイナー長野祐子さんは「貴重な玉鋼はさまざまな工芸品を作る魅力的な素材だと思ふ」と話していた。

本紙第50号で紹介したが、雲南市吉田町の株式会社田部では「たたら」のプロジェクトを推進しており、山陰の各地で「たたら」を重要な資源として活用する地域創生が進んでいる。



2020.2.5 WED. 3.15 SUN
奥出雲たたらと刀剣館 19:00-17:00

旅のつれづれに7

国広や朝尊ゆかりの地、洛北の幡枝八幡宮を訪ねて

平成三十年九月から約二カ月間、京都国立博物館で特別展「京のかたな」一匠のわざと雅のこころ」が開催されたことはまだ記憶に新しく、山城鍛冶や京都で活躍した刀匠の代表作など二百点が展示されました。

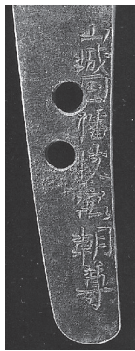
国立博物館における刀剣の大規模な展示は平成九年に東京国立博物館で開催された「日本のかたな」鉄のわざと武のこころ」以来、刀剣の国宝指定品百二十二振のうち約六分の一(十九振)うち山城物十七振)を含め、現存する山城物の名品のほとんどが京都に舞い戻ったと言っても過言ではありません。また、人気ゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボレーションや、三月月宗近・骨喰藤四郎など刀剣男子のモチーフとなった刀剣二十振以上が集結したことも大きな話題を呼びました。

入場者数も二十五万人を超え、

京博の歴代七位を記録しました。これは国宝展に比肩する規模であらためて美術性のみならず、日本刀の背景にある歴史的・文化的な魅力を国内外にアピールする結果となりました。

当店つるぎの屋からも数振の刀剣を出展させていただきましたが、そのうちの二振である、幕末の京都で活躍した南海太郎朝尊の作品「短刀銘山城国幡枝寓朝尊をこれも何かの縁かと思ひ、奇贈いたすこととしました。京博にも快く受け入れてくださり、本年一月十七日に受領書と感謝状を頂戴しました。

京博では坂本龍馬の佩刀と伝える「陸奥守吉行」の刀を所蔵される「山城国幡枝寓朝尊



短刀銘山城国幡枝寓朝尊



大鳥居の先に幡枝八幡宮が鎮座する

新選組も愛した刀足利へ

市内に在住する寄贈者は、匿名を希望し、所蔵した刀は、新選組の刀足利へ寄贈された。寄贈された刀は、新選組の刀足利へ寄贈された。寄贈された刀は、新選組の刀足利へ寄贈された。

主たる営業所の届け出は 3月31日までに

「主たる営業所等届出書」の提出期限が決定!!

「主たる営業所等届出書」を提出していない古物商、古物市場主の方は

令和2年 3月31日までに

主たる営業所・古物市場を管轄する警察署へ「主たる営業所等届出書」を提出して下さい。

営業所等が1ヶ所のみ古物商及び古物市場主の方も、届け出の必要があります。上記期限までに届出をしないまま古物営業を営むと、無許可営業となってしまう。

お問い合わせは、営業所古物市場を管轄する警察署の届出係にお問い合わせ下さい。

届出書ダウンロードはこちら

届出書ダウンロードはこちら

室町～江戸時代の18点 市民が寄贈

市内に在住する寄贈者は、匿名を希望し、所蔵した刀は、新選組の刀足利へ寄贈された。寄贈された刀は、新選組の刀足利へ寄贈された。

「新選組の近藤勇局長の愛刀」は「虎徹」とされているが、実は清盛の刀だったという説がある」と話す。

「新選組の近藤勇局長の愛刀」は「虎徹」とされているが、実は清盛の刀だったという説がある」と話す。

「新選組の近藤勇局長の愛刀」は「虎徹」とされているが、実は清盛の刀だったという説がある」と話す。

銘文にある「幡枝寓」とは「幡枝八幡宮」のことで、訪れてみると同社は小高い山の上に鎮座してありました。昔は石清水が湧き出ていたそう、朝尊のほかに堀川国広も同地で作刀していますが、現在は枯れてしまったそうです。

太刀銘幡枝八幡宮 藤原国広造 / 慶長四年八月彼岸 重要美術品 幡枝八幡宮蔵

国広が京都堀川に定住した後で最も早い慶長四年(一五九九)紀を有し、幡枝八幡宮の神前で鍛えて奉納したもので、後に後水尾天皇が金梨地鳩紋時糸巻太刀拵を製作させて寄進し、現在も同社の蔵となっています。

筆者も幡枝八幡宮に参拝し「京のかたな」展が大成功のうちに幕を閉じたことを感謝しつつ、二十一年後に再び国立博物館において素晴らしい刀剣展が開催されることを念じ、同地を後にしました。

(眞賀亮典)

催事情報

奈良国立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町50 ☎ハローダイヤル050-5542-8600 https://www.narahaku.go.jp/

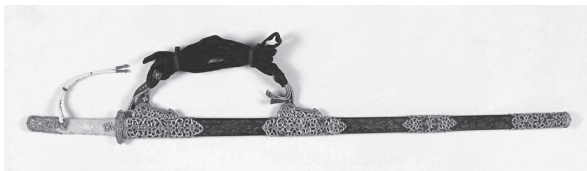
御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物—再現模造にみる天平の技—」

本展は、正倉院宝物の精巧な再現模造の数々を一堂に公開する展覧会です。

正倉院宝物とは、奈良・東大寺の倉であった正倉院正倉に伝えられた約9,000件に及ぶ品々です。聖武天皇ゆかりの品をはじめ、その多くが奈良時代の作で、調度品、楽器、遊戯具、武器・武具、文房具、仏具、文書、染織品など、多彩な内容を持ちます。中には西域



模造 金銀荘横刀 奈良国立博物館蔵



模造 金銀細荘唐太刀 正倉院事務所蔵

や唐からもたらされた、国際色豊かな品々も含まれます。

正倉院宝物の本格的な模造製作は、明治時代に奈良で開催された博覧会を機に始まりました。当初、模造製作は修理と一体の事業として取り組まれ、昭和47年からは宝物の材料や技法、構造の忠実な再現に重点が置かれるようになります。以来、人間国宝ら伝統技術保持者の熟練の技と、最新の調査・研究成果との融合により、芸術性・学術性の高い優れた再現模造が数多く生み出されてきました。

本展は、これまでに製作された数百点に及ぶ正倉院宝物の再現模造品の中から選りすぐりの約100点を一堂に公開するものです。再現された天平の美と技に触れていただくとともに、日本の伝統技術を継承することの意義も感じていただけますと幸いです。1300年の技が、いまここに蘇ります。

奈良国立博物館での開催後、全国巡回を予定しています。

会期：4月18日(土)～6月14日(日) 会期中に展示替えあり

〈巡回会場の会期〉

2020年7月18日(土)～8月30日(日)	長野：松本市美術館
2020年10月3日(土)～11月23日(月・祝)	名古屋：松坂屋美術館
2021年2月9日(火)～3月28日(日)	沖縄県立博物館・美術館
2021年4月20日(火)～6月13日(日)	福岡：九州国立博物館
2021年7月3日(土)～8月29日(日)	新潟県立近代美術館
2021年9月15日(火)～11月7日(日)	北海道立近代美術館
2022年1月26日(火)～3月27日(日)	東京：サントリー美術館

国立科学博物館

〒110-8718 台東区上野公園7-20 ☎ハローダイヤル03-5777-8600 https://www.kahaku.go.jp/

特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」

2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産登録を受けて以来、和食への関心は世界各地でますます高まっています。本展は、多角的な視点から和食に迫る、国立科学博物館として初めての大規模特別展です。

和食は、外来の文化も柔軟に受容しながら発展し、今もなお変化し続けています。明治時代以降に広まった日本独自の「洋食」などにも目を向けつつ、日本列島の自然がもたらした多様な食材、人々の知恵で作られ育まれた発酵などの技術、古代から未来をも見据えた和食の歴史の変遷などを、バラエティ豊かな標本や資料、そしてインタラクティブな映像演出を交えて、わかりやすく紹介していきます。

和食を通じて、日本の豊かな環境とそこに暮らす人々の営みについて、新たな視点で考えるきっかけとなれば幸いです。

会期：3月17日(火)～6月14日(日)



刀剣博物館

〒130-0015 墨田区横網1-12-9 ☎03-6284-1000 https://www.touken.or.jp/museum/

日本刀の見方パートⅢ 刃文

この度の展示では原点に立ち返り、日本刀鑑賞の基礎たる点にスポットを当てることにいたしました。

近年、増えている若い刀剣愛好家からの声もあり、日本刀はどのように見ればよいのか、どこが見所なのかをわかりやすく示し、日本刀の魅力を存分に楽しんでいただこうと思います。

そこで「日本刀の見方」と題し「姿」「地鉄」「刃文」それぞれに焦点を当て、全3回に分けて日本刀鑑賞のポイントを解説するシリーズ展示を企画しました。今回は「刃文」です。

本展覧会では(公財)日本美術刀剣保存協会の所蔵品を中心に、各時代の名刀や、彩りを添える刀装・刀装具を展示します。初心者も玄人も共に肩を並べて心置きなく、名品をご賞覧ください。

会期：2月22日(土)～5月17日(日)



会場によって休館日が異なります。事前に確認の上、お出かけください。

長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上原町1-13 ☎0258-53-6300 https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=135

第4回「日本刀の美」

日刀保長岡支部会員の愛刀展は平成20年から4年ごとに開催し、この度4回目を迎えます。会員所蔵の刀剣をはじめ、関連した刀装具や武具類、そして作刀工程標本や近世の刀剣の歴史の紹介など、初心の方にも日本刀をより身近に、また多角的に俯瞰できる企画となっています。一般の方にも気軽に日本刀の世界を楽しんでいただければと思います。

会期：4月25日(土)～6月28日(日)

桑名市博物館

〒511-0039 桑名市京町37-1 ☎0594-21-3171 https://www.city.kuwana.lg.jp/index.cfm/24,0,235,414.html

春季企画展「刀剣幻想曲」

刀剣・刀装具を中心とした展覧会です。専門用語が多く、親しみづらく思われる刀剣鑑賞をわかりやすい内容でご紹介します。

〈主な展示作品〉

- 刀 銘 備前介藤原宗次 桑名市指定文化財(天武天皇社蔵)
- 短刀 銘 村正(個人蔵)など69点

会期：3月7日(土)～5月10日(日)



立花家史料館

〒832-0069 福岡県柳川市新外町1 ☎0944-77-7888 http://www.tachibana-museum.jp/

新春テーマ展「花らんまん—柳川藩主立花家伝来の美術工芸品から—」

当館が所蔵する5千点に上る美術工芸品の中から、咲き誇る花を描いた絵画や能装束、さまざまな技法で可憐な花を表した工芸品、華やかな宴を彩る酒器や茶弁当、艶やかな花のような美人画、姫さまたちの豪華な婚礼調度など、選りすぐりの名品を集めてきました。寒い屋外より一足先に、展示室での贅沢な花見の宴をお楽しみください。

会期：12月27日(金)～4月6日(月)



三河武士のやかた家康館

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561-1 ☎0564-24-2204 https://okazaki-kanko.jp/okazaki-park/feature/ieyasukan/top/

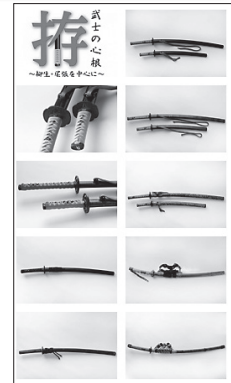
企画展「武士の心根 拵～柳生・尾張を中心に～」

ここ数年、日本刀がブームとなっていますが、刀剣そのものばかりに注目が置かれ、その外装である「拵」にはあまり目を向けられないのが現状です。しかし、拵は「武士の顔と心根」と言われるように、武士一人一人の権威や性格を表す非常に興味深い資料であります。江戸時代に入ると、拵は実戦用の道具としての範囲を超えて、儀式用に用いられるものや登城・普段使用、あるいは美術品として重宝されるなど、時代や流行に合わせてさまざまなものが考案されました。さらには、それぞれの地方の文化や地域性を取り入れた「お国拵」と呼ばれるものも作られるようになりました。

今回の展覧会では、お国拵の中でも、地元である愛知県の「柳生拵」と「尾張拵」に焦点を当て、その特徴を作品とともに紹介します。また、その他にも美しく優美なものや、少し変わったものまで、さまざまな拵を展示します。

本展の開催が、多くの方々に拵の魅力とその極意に触れていただく一助になれば幸いです。

会期：2月1日(土)～4月12日(日)



致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199 https://www.chido.jp/

展覧会案内 2020

- 山口産マブココレクション *Sonhos de Amazônia* 4月3日(金)～5月13日(金)
- 日本遺産「庄内、悠久の歴史」 8月1日(土)～9月14日(日)
- 日本遺産「庄内、悠久の歴史」 12月19日(土)～2021年2月14日(日)
- 白幡 進回展「内なる月山」を繋ぎつけた二人の物語 5月16日(土)～6月10日(日)
- 9月17日(土)～10月28日(日) 筆紙の!! 名品展
- 日本名刀展シリーズ 幕末の刀工 藤原清人 10月31日(土)～11月29日(日)
- 6月13日(土)～7月28日(日) ぶつ 武つと美!! 名品展
- 第41回 鶴岡書道会会員展 12月3日(土)～12月15日(日)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、美術館・博物館等の文化施設の休館やイベントの中止・延期、内容の変更などが相次いでいます。お出かけを予定されている方は、主催や会場のホームページで必ずご確認ください。